



「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っているると便利な図書・資料」などを取り上げます。

データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 ページ数 6 定価(税込) 7 その他

勉強にも授業にも、いろいろ役に立つ初級文型の絵

『絵でマスター にほんご基本文型85』

データ

1 村野良子 2 凡人社 (〒102 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1階/TEL:03-3472-2240 FAX:03-3470-2129) 3 1996年9月 4 4-89358-360-35 5 78ページ 6 2,310円 7 別冊 STUDENT STUDY GUIDE 付き

本冊と学習の手引き

本冊の各ページには、基本的には一つの文型が紹介されています。紹介されている文型の例文は、すべて仮名で書いてあります。絵で表されているキーワードで、各文型の入れ換え練習ができるようになっています。絵が表すキーワードの意味が分からなくても心配ありません。四角い枠の中に、仮名で単語や表現が書かれています。目次には文型と文型を使った例文がでているので、勉強したい文型のページをすぐ選ぶことができます。目次の文型は、やさしいものから難しいものへと並べられています。

別冊「学習の手引き」は、次の～が英語で書かれています。文型を使って表現する目的、文型を使う練習の例文(日本語)とその英訳、文型を勉強するとき、注意しなければならないこと。

教室活動のリソース

文型の絵は、著者が日本語を教えるとき実際に使ってきた教材です。各文型を

使って表現する場面や、入れ換え練習のキーワードが、分かりやすく描かれています。絵を描くのが苦手な教師や、絵カードがない時には、この本を利用するといいでしょう。

では、この本の絵を使ってどんなことができるのでしょうか？

媒介語(母語または共通語)を使わずに、新しい文型を教えたり、文型の口頭練習をさせることができます。場面の説明やキーワードを、絵で示すことができるからです。

各文型の絵は、その文型以外の表現にも使うことができます。写真のページの絵を見てください。この絵は「N1のN2」を練習するために描かれています。けれども、「Nが好きです」や「Vています」の練習にも使えるのです。たとえば、「あおきさんは おおきいかばんが すきです」または「あおきさんは おおきいかばんを つかっています」「あおきさんのかばんは どれでしょう?」といった練習も、写真の絵でできます。

単語を絵の中から探すゲームもできます。四角い枠の中の仮名を読んだり、新しい単語を復習するとき、このゲームが使えます。

リスニングの練習にも、絵を使うことができます。教師が日本語で言った単語や説明を聞いて、学習者があてはまる絵を探すゲーム

ムです。

いろいろな場面を表す絵がありますから、絵を並べかえたり選び出したりして、お話や物語を作る活動もできます。

絵の場面を、知っている表現や文型を使って、できるだけ詳しく説明する活動も面白いでしょう。

この本は、教師の工夫でいろいろな使い方ができる本です。



本文p.6



別冊p.3



『にほんごであそぼう！ パズル式日本語』  
しきにほんご

データ

1 北嶋千鶴子、関麻由美 2 凡人社 (〒  
きたじま ちづこ せきま ゆみ ほんじんしゃ  
102 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平  
とうきょうと ちよだく ひらかわちやう りやうしんひら  
河町ビル1階 / TEL:03-3472-2240  
かわちやう かい  
FAX:03-3470-2129 ) 3 1996年12月  
ねん がつ  
44-89358-362-X576 ページ  
61,050円  
えん

遊びながら使える  
あそぶ つか

この本は日本語のクロスワードパズル  
ほん にほんご  
集です。やりかたはふつうのクロスワ  
しやう  
ードパズルと同じです。日本語で書いてあ  
る「縦のかぎ」と「横のかぎ」の説明を  
たて よこ せつめい  
読んで、適当な言葉を の中にかた  
よ てきとう ことば なか  
かなで書きます。説明の文を読んでも答  
か せつめい ぶん よ こたえ  
がわからないときは、絵を見て答を考  
え み こたえ かんが  
えることができます。このようにパズルを  
つか あそぶ にほんご べんきやう  
使って遊びながら、日本語の勉強がで  
るようになっていきます。

どこからでも使える  
どこからでもつか

パズル集は< PART1 言葉編 >と<  
しやう ことば へん  
PART2 会話編 >に分かれています。パ  
かいわ へん わ  
ズルの数は全部で30組あり、それぞれ  
かず ぜんぶ ぐみ  
のパズルはトピック別と場面別になっ  
て べつ ばめんべつ  
ています。

< PART1 言葉編 >には、次の20の  
ことば へん つぎ  
パズルがあります。

1. 「挨拶」  
あいさつ
2. 「国」  
くに

3. 「野菜・果物」  
やさい くだもの
4. 「メニュー」  
メニュー
5. 「着る物」  
きるもの
6. 「身につける物」  
みにつけるもの
7. 「店」  
みせ
8. 「乗り物」  
のりもの
9. 「道」  
みち
10. 「部屋」  
へや
11. 「台所」  
だいどころ
12. 「トイレ・風呂場」  
トイレ 風呂場
13. 「動物」  
どうぶつ
14. 「スポーツ」  
スポーツ
15. 「職業」  
しやうぎ
16. 「天気」  
てんき
17. 「病気と体」  
びやうき からだ
18. 「形容詞」  
けいようし
19. 「動詞」  
どうし
20. 「数えましょう」  
かぞえましょう

また、< PART2 会話編 >には、次  
かいわ へん つぎ  
の10のパズルがあります。

21. 「人を紹介する」  
ひと しょうかい
22. 「買物をする」  
かひもの
23. 「道を聞く」  
みち き
24. 「電車に乗る」  
でんしゃ の
25. 「喫茶店に入る」  
きっさてん はい
26. 「電話をかける」  
でんわ かける
27. 「訪問する」  
ほうもん
28. 「郵便局に行く」  
ゆうびんきょく いく
29. 「病院に行く」  
びやういん いく
30. 「料理をする」  
りやうり

このようにパズルはトピックや場面別  
ばめんべつ  
に分かれていますので、興味や必要に合  
わ きやうみ ひつよう あ  
わせて、どこからでも始めることができ  
ます。また、パズルの答は< PART3 解  
かい  
答 >に出ているので、答が正しいかどう  
か自分で調べることができます。

いろいろな学習者が使える  
いろいろながくしや つか

いろいろなレベルの学習者が使えます。  
いろいろながくしや つか

たとえば、初級前半の学習者の場合は、  
しよきゅうぜんはん がくしや は あい  
内容を見て、できそうなところから始め  
ないよう み  
ればいいと思います。また、初級後半～  
おも  
中級の学習者は、自分の日本語力を試す  
ちゆうきゆう がくしや じぶん にほんごりよく ため  
ためにも、復習用にも使えます。

説明文の漢字には全部ふりがながあ  
せつめいぶん かんじ ぜんぶ  
り、初級前半のレベルの文型が使われて  
しよきゅうぜんはん レベルのぶんがた  
います。それでも難しい学習者の場合に  
むずか かくしや は あい  
は、教師が説明文を学習者の母語に翻訳  
きょうし せつめいぶん がくしや は むご ほんごやく  
すれば、よりわかりやすくなると思いま  
おも

いろいろなやり方で使える  
いろいろなやりかた つか

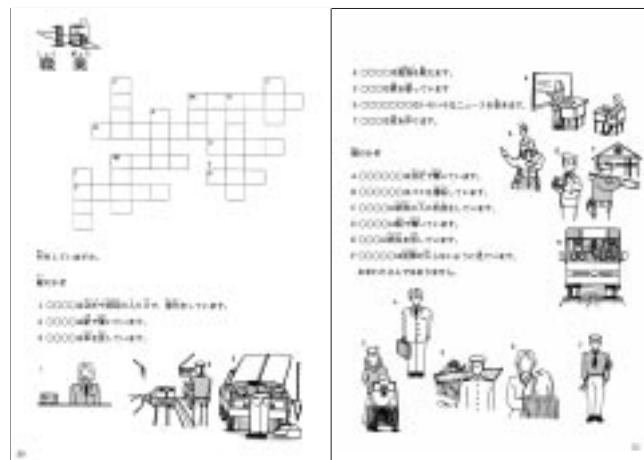
このパズル集はいろいろな使い方がで  
しやう つか つか  
きます。たとえば、学習者が自分一人で  
がくしや じぶんひとり  
楽しむ独習用として使えます。また、教  
たの ひとりじやうよう つか  
室の中でグループに分かれて、数人で協  
しつ なか わ  
力しながらパズルの答を考えることもで  
りよく  
きます。どのグループがいちばん早くで  
はや  
きるか競争することもできます。教師が  
きやうそう  
黒板に書いたり、OHPシートにすれば、  
くろばん か  
クラスみんなで一緒に考えることもでき  
いっしょ かんが  
ます。もちろん、日本語の勉強から離れ  
にほんご べんきやう はな  
てことば遊びの道具としても使えます。  
あそぶ どうぐ つか

絵教材集としても使える  
えきやうざいしゆ つか

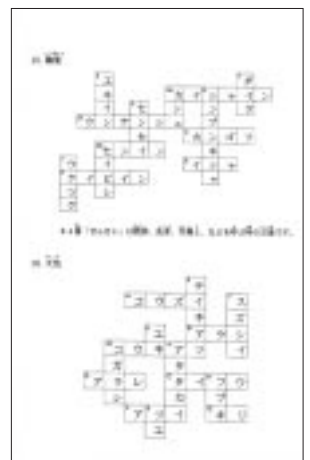
また、この本の中にヒントとして描か  
ほん なか えが  
れているたくさんのイラストは、教師が  
きょうし  
語彙を導入するときに必要な絵教材とし  
ごい どうりやう ひつよう えきやうざい  
て使うこともできます。



pp.30 ~ 31



p.69



”ニュースを使って「読む・聞く・話す」を総合的に学べる教材”

『新聞で学ぶ日本語・読んで話す現代の日本』

データ

1 水谷修、水谷信子 2 The Japan Times  
 108 東京都港区芝浦4-5-4 /  
 TEL:3453-2013 FAX:03-3453-8023 )  
 3 1996年12月4日 44-7890-0863-0  
 5146ページ 62,100円

これは、中・上級学習者を対象とした教材で、英字新聞The Japan Timesに連載したCommunication Cuesの記事をもとに作られました。

この教材は、全部で60課からなり、各課は見開きの2ページで構成されています。まず、200字程度の本文(新聞記事例)、次に単語リスト(漢字の読みと英訳付き)、そして「内容チェック」の穴埋め問題が2~3問、各課で取り上げた記事内容を扱った2~3往復の会話例

(知人同士のていねいな会話と親しい間柄のくだけた会話の二つ)その応用としての談話練習と続きます。本文、会話例にはすべて英訳が付いています。また、数課ごとに応用記事としてナマの新聞記事も五つ取り上げられています。

この教材の特徴は四つあります。現代日本社会を理解する助けとなる題材を幅広く取り上げていること(例えば、「大卒者の就職率、いぜん厳しく」「女性が一生に生む子どもの数、最低に」「羽子板市、始まる」「地震に強い住宅のポイント」などの記事例があります)、読んだり聞いたりして理解するだけでなく、理解した内容について人と話すという総合的な練習ができるような題材を提供し

ていること、易度に関係なくどの課からでも学習が始められるように本文にある単語をもれなく単語リストで拾っていること、各課の新聞記事例をラジオやテレビのニュースの調子で言い換えた音声テープがついていること、です。

学習者の興味・関心、専門に合わせた活用ができる教材ではないでしょうか。



pp.90-91

”だれでも読めるひらがな日本昔ばなし”

『日本昔ばなし』

データ

1 さいとういおえ他 絵、ラルフ・F・マッカーシー 英文 2 講談社インターナショナル(〒112 東京都文京区音羽1-17-14 / TEL:03-3944-6492 FAX:03-3944-6323 ) 3 1996年9月4日 各47ページ 5 各1,020円

ひらがなが読めるようになり、学習時間200時間が過ぎたころ、学生は、よく簡単な、例えば、絵本のような読み物を読んでみたいが、なにか適当な読み物はないだろうかと聞いてきます。そんな時いつも適当なものがなく、教師は困ります。「日本昔ばなし」はそんな時に推薦できる本なのです。

このシリーズは、講談社のたくさんの絵本の中から代表的な昔話11話を選んで、シリーズ10巻にしたものです。11話は『ももたろう』『かくやひめ』『うら

しまたろう』『いっすんぼうし』『はなさかじじい』『したきりすずめ』『かちかちやま』『さるかにがっせん』『きんたろう』『ぶんぶくちやがま』『ねずみのよめいり』です。各巻は絵巻物のような日本の絵が中心で、物語はそれに添えてあるだけです。ひらがなだけで書かれているので、学習時間200時間前後の文法知識があれば、十分読めます。絵や物語は、大人でも楽しめます。また、ページごとに絵の邪魔にならない場所に物語の英訳もついています。巻末には難しい表現について英語の簡単な説明もあり、読みやすくなっています。

一人で楽しんで読むだけでなく、クラスで読んで聞かせること

もできます。また、英訳もついているので、日本語がまだ十分でなくても、日本の昔話が楽しめます。



『かくやひめ』



『日本語文法セルフマスターシリーズ6 文の述べ方』  
にほんご ぶんぽう

データ

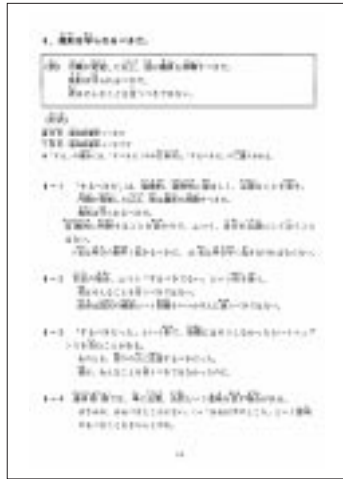
1 森山卓郎、安達太郎 2 くるしお出版  
もりやまたくろう あだちたろう しゅつぱん  
(〒112 東京都文京区小石川 3-16-5 /  
とうきょうと ぶんきょうく こいしかわ  
TEL:03-5684-3389 FAX:03-5684-4762 )  
3 1996年10月 44-87424-129-8  
5 150ページ 2,100円  
えん

本書のタイトル「文の述べ方」というのは何でしょうか。ちょっと考えてみましょう。

例えば、ある出来事が本当に起こったかどうか、その「確からしさ」を話し手が判断するとき、日本語では「～だろう」「～かもしれない」「～に違いない」「～はずだ」などの文型を使いますが、本書ではこれらのような文末の表現形式を、特に「文の述べ方」と考えます。そして、そのいろいろな「文の述べ方」を実際の

コミュニケーションの場

での表現意図の違いによって、義務・必要・許可の表現、確からしさの表現、疑問、確認の表現、意志、勧めの表現、依頼、命令の表現の五つのグループに分けて、その作り方や使い方、意味の違いなどをわかりやすく説明しています。各グループに練習問題が付いているので、自分のペースで勉強しながら、どの程度理解できたかを確認することもできます。また、必要に応じて関連する表現のいろいろな問題点や注意点（例えば、許可の表現に関連して「いい・よろしい・結構です」の違いなど）が「コラム」の欄にまとめ



p.12

られているので、間違えやすい表現の用法を確認することもできます。

中級以上の学習者や日本語教師が日本語文法の知識を整理し直すのに役に立つ本です。また、すべての漢字ががあるので、漢字が弱い人も利用することができます。

同シリーズには、今までに本書以外に1「はとが」2「する・した・している」3「格助詞」4「指示詞」5「も・だけ・さえなど」の5冊の本が出版されています。いっしょに紹介しておきます。

『右脳を刺激する日本語小事典』  
うのう しげき にほんごしょうじてん

データ

1 城生百太郎、佐久間まゆみ 2 東京書籍  
じょうおほくたろう さくま とうきょうしゅき  
(〒114 東京都北区堀船 2-17-1 /  
とうきょうと きたく ほりぶね  
TEL:03-5390-7505 FAX:03-5390-7538 )  
3 1996年11月 44-487-73232-85319ページ 62,039円  
えん

外国語を学習する時の問題点の一つに、意味の面で関連のある語の相互の関係があります。この辞典では、関連する意味の違いを視覚化して、わかりやすく示すとしています。方法は、意味を簡素化した成分に分解し、一つの語をその成分の組み合わせとして図表や一覧表で示すというものです。これが本書の特徴となっています。本辞典の内容の、全てを理解するためには、上級程度の日本語力が必要でしょう。

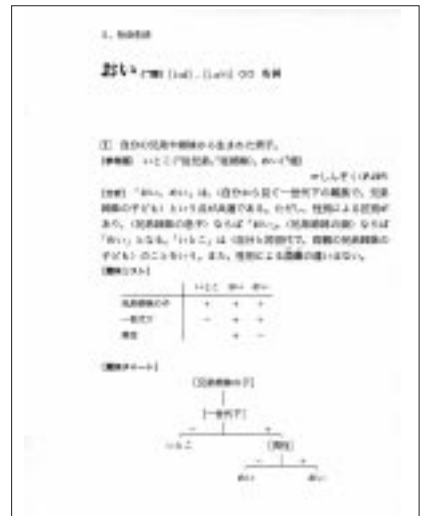
見出し語の数は、114語です。これが身体、衣食、住居・輸送など12種の大項

目に分類されています。構成は、次の要素からなっています。見出し（漢字表記、発音記号、アクセント表示）、品詞（活用の種類、活用形の語尾）、意味記述、文型提示、参照語、分析、用例チェック、意味リスト、意味チャート、コラムなど。

次にこの辞典の特徴を、記述の順に見ていきましょう。まず発音記号があります。これは国際音声記号を用いています。またアクセント表記は、音響分析器による解析を基礎としています。「参照語」は、各見出し語ごとに数語から20語程度という多さです。これらが「分析」の項で相互に関連づけられながら説明されています。その説明の中では「用例チェック」の項で、×による用法の提示があります。結果は、「意味リスト」で語彙群の意味の成分が表示されます。更に「意味チャート」でそれが枝分かれ図として表示されています。このように、意

味を図表でわかりやすく示していることが、大きな特徴となっています。最後に「コラム」があります。ここでは見出し語などが対照言語学の視点から説明されています。

本書は、読んで考えるための辞典といえそうです。



p.106